

指定管理業務評価表

施設名	こまき市民交流テラス		
対象年度	令和6年度	評価担当部	健康生きがい支え合い推進部
指定管理者名	特定非営利活動法人市民活動ネットワーク (法人番号 4180005008711)		
指定期間	令和7年4月1日 ～ 令和10年3月31日		
職員体制	常勤職員：1人 非常勤職員：6人 合計：7人		

1. 利用実績

(1) 利用者数

	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
4月	247 件	1,155 人	10月	242 件	2,493 人
5月	263 件	1,518 人	11月	213 件	1,149 人
6月	353 件	1,411 人	12月	164 件	1,073 人
7月	217 件	1,385 人	1月	182 件	1,082 人
8月	212 件	1,419 人	2月	214 件	1,249 人
9月	221 件	1,269 人	3月	371 件	1,459 人
			合計 (前年)	2,899 件 (3,139 件)	16,662 人 (16,361 人)

(2) 増減要因

昨年に引き続き、生涯学習団体の登録、利用が増加しており、その理由として令和5年度の11月より小牧市市民会館・市公民館の利用停止に伴いそれまで利用していた団体が当施設の多目的室を利用するようになったことが考えられる。また、フリースペースに机といすを増設したため、フリースペースの利用者数も増加した。

なお、利用件数の減少は3月のいきいきポイントの利用件数が減少したことが主な要因と考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和7年3月14日～3月27日	回答数	来場者20名 オンライン32名 合計52名
アンケート 結果の 概要等	来場者への調査のほか、オンラインによる調査も行った。 施設・設備や職員の対応への満足度が高いという結果が出ている。 来場目的としては多目的室の利用が高いことに加えて、情報提供や窓口での助言など活動の支援や連携を促す拠点としての役割を果たしていると思われる。		
具体的な	引き続き、利用者に対して質の高いサービスを提供していくことや、必要とされ		

対応状況	る情報発信に努めていくように指示を行った。
------	-----------------------

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和5年度 (前年決算額)	令和6年度 (現年決算額)	令和7年度 (翌年予算額)	備 考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	28,093	28,528	29,291	
	事業収入	0	0	0	
	合計	28,093	28,528	29,291	
支 出	人件費	16,872	16,872	17,186	
	報償費	208	203	174	諸謝金
	旅費	237	275	511	
	需用費	1,521	1,607	1,742	印刷製本費、消耗品費
	役務費	391	352	708	通信運搬費
	委託費	33	11	0	
	その他	8,831	9,208	8,970	賃借料、保険料、諸経費等
	合計	28,093	28,528	29,291	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	協定書、事業計画書に沿った施設管理運営が実施されている。
維持管理業務	清掃管理については、都市開発(株)による清掃のほか、施設職員により日頃から清潔な施設を保つよう努められており、利用者アンケートにおいても良い評価が得られている。 施設の安全管理については、施設職員による自主点検が定期的実施されており適正に管理されている。
自主事業	市民活動団体のニーズをとらえた講座などを企画することができている。今後は市民活動やボランティア活動に興味関心がある市民を活動へつなげられるように多くの機会を提供できる事業実施に努めること。
サービスの質	利用者アンケートの結果から利用満足度のほか、職員の対応や施設設備についても利用者から良い評価が得られている。今後も利用者がより快適に利用でき、来場目的を達成できる施設となるよう、質の高いサービスの提供に努めること。
収支状況 及び 経費節減	収支状況については、経費削減に取り組みながら概ね計画的かつ適正に執行されていた。事業の際の連絡手段としての SNS 活用など、引き続き、経費節減に努めること。
その他 (緊急時の対応、	都市開発(株)が行う消防訓練に参加し、災害時のスキルを学ぶとと

市の改善指示に対する対応等)	もに、不審者対応マニュアル及び業務継続計画（BCP）を作成し、緊急時に備えている。 今後も職員研修を行い日頃からリスクマネジメントに努めること。
----------------	--

※必要に応じて、項目を加除するなどして、使用してください。